

令和
6
年度
決算



グラフと写真でみる
まちの決算と
財政状況

北海道栗山町

もくじ



グラフでみる決算概要

○全会計の決算概要と推移	2
○一般会計の決算概要	4
○国民健康保険特別会計の決算概要	6
○北海道介護福祉学校特別会計の決算概要	7
○介護保険特別会計の決算概要	8
○後期高齢者医療特別会計の決算概要	9
○住宅団地造成事業特別会計の決算概要	10
○工業団地造成事業特別会計の決算概要	11
○水道事業会計の決算概要	12
○下水道事業会計の決算概要	13



写真でみる主な実施事業

栗山町第7次総合計画に基づく令和6年度事業実施結果の一部を紹介	15
---------------------------------	----



グラフでみるまちの財政状況

○基金残高の推移	22
○町債残高の推移	23
○財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況	24

参考

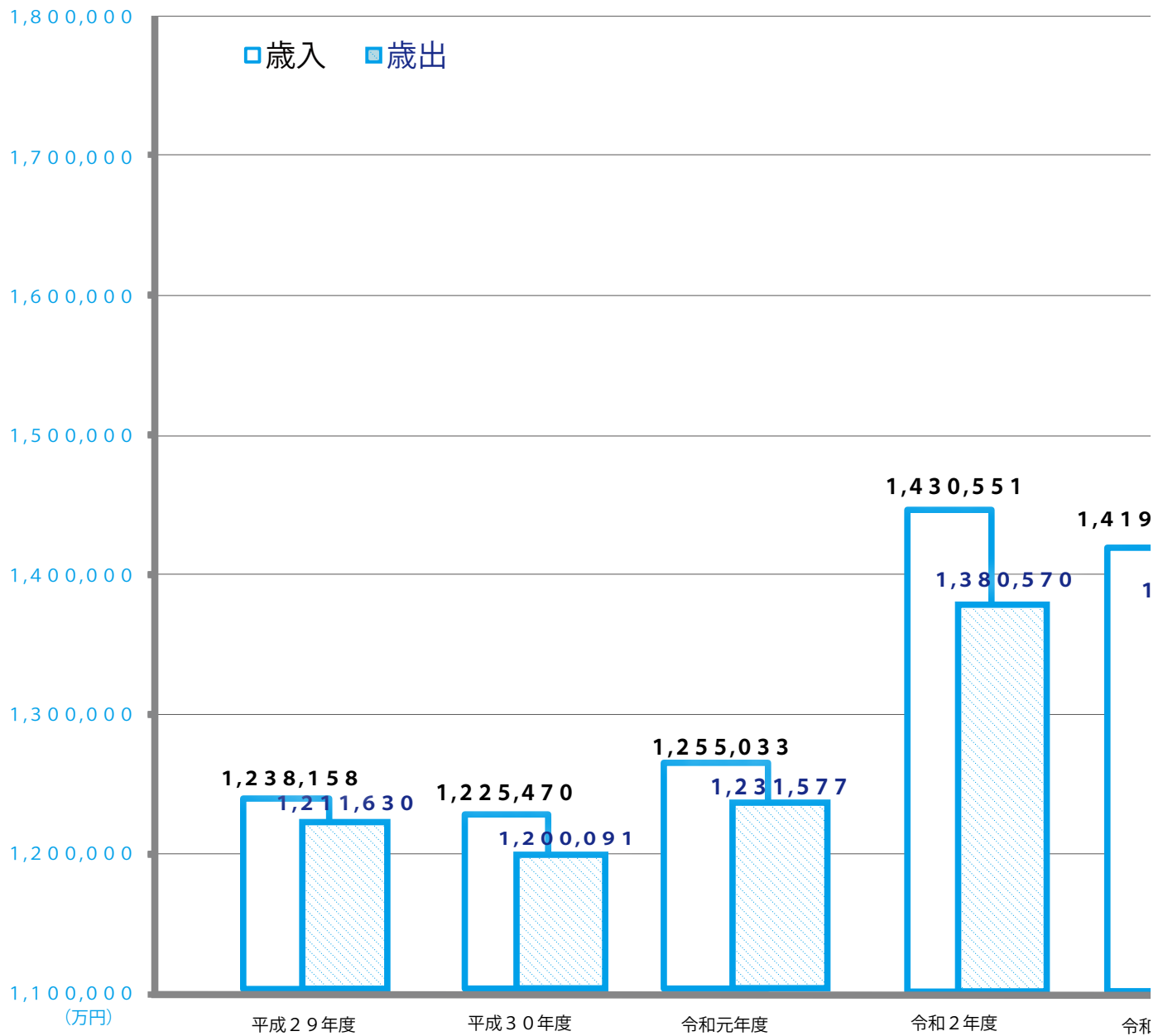
南空知9市町の令和5年度普通会計決算概要	25
----------------------	----



グラフでみる

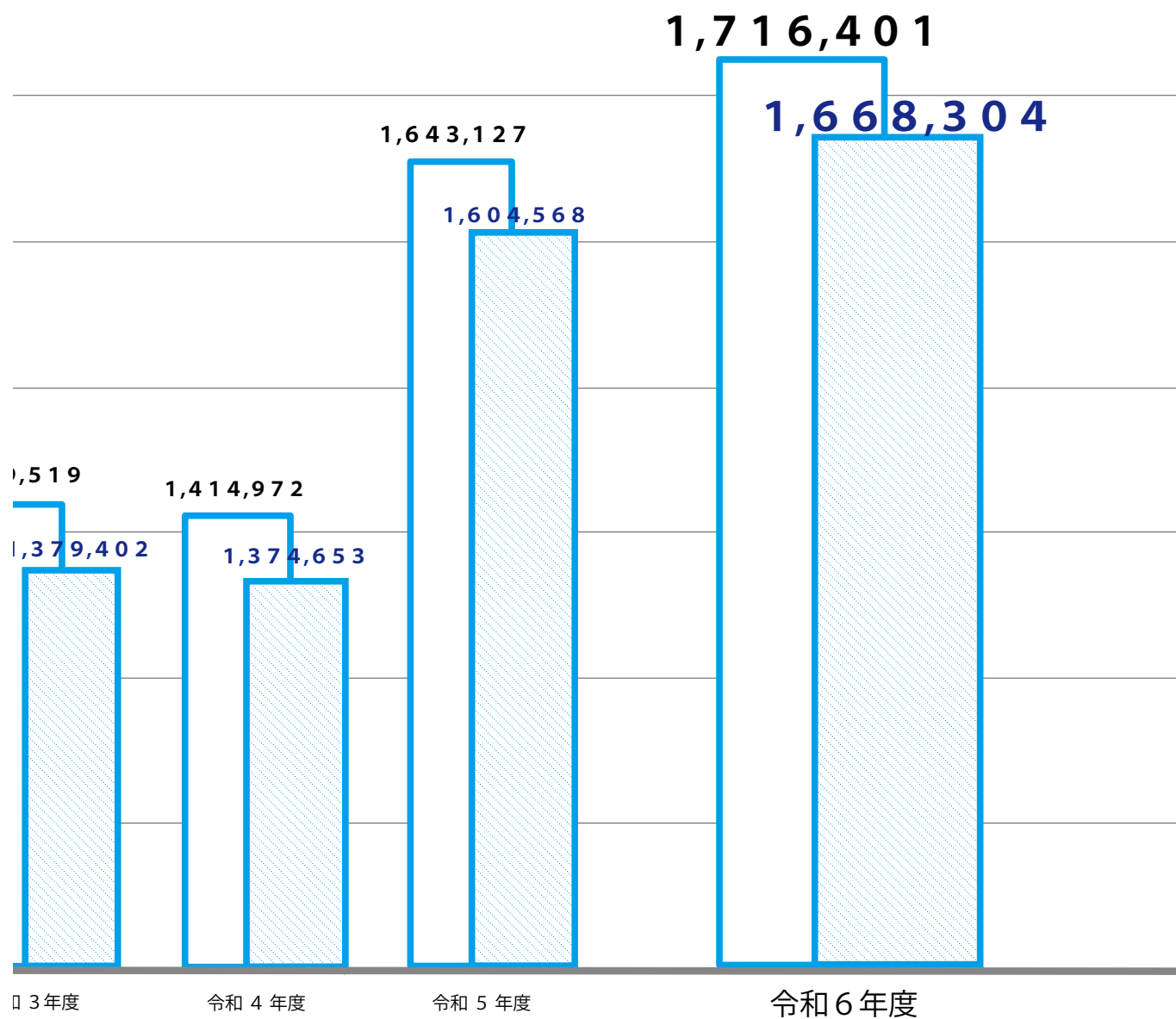
決算概要

全会計の決算概要と推移



令和6年度の一般会計・特別会計（国民健康保険特別会計、北海道介護福祉事業特別会計、工業団地造成事業特別会計）・企業会計（水道事業会計、下水道企業会計を除いた会計の令和6年度決算総額は、歳入で171億6,401万6,373円の増）となりました。

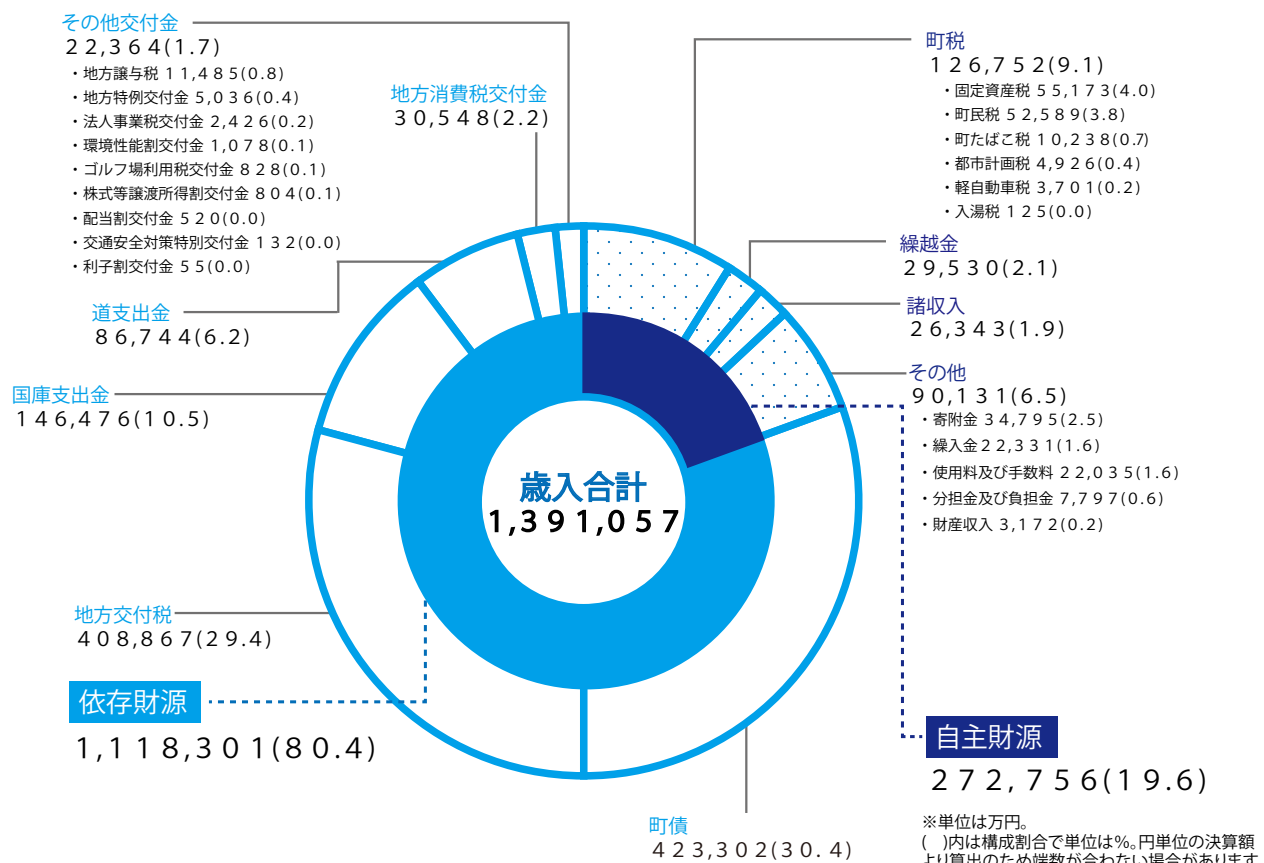
※企業会計（水道事業・下水道事業）を除いた
全会計の合計値です。



祉学校特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅団地造成
事業会計）の決算が、9月議会定例会議で認定されました。

万円（前年比7億3,274万円の増）。歳出で166億8,304万円（前年比

一般会計の決算概要

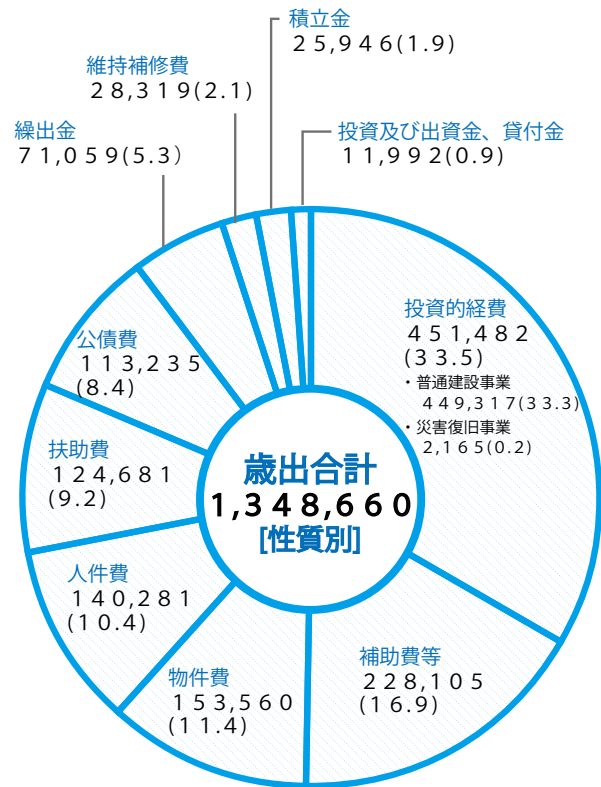
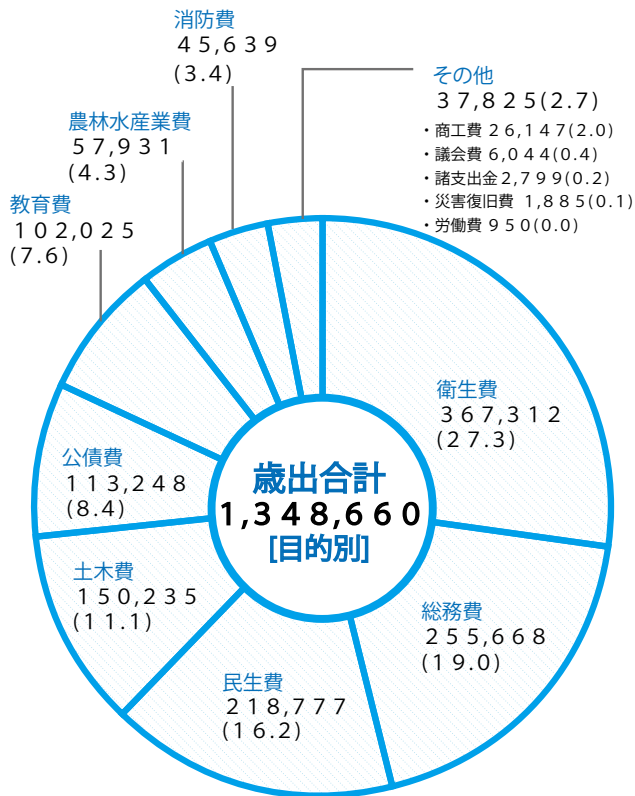


歳入総額は139億1,057万円。

前年比9億6,706万円の増。

一般会計とは行政運営の基本となる会計で、福祉や教育、消防などまちづくりに広く関わる事業における会計です。歳入（収入）総額は139億1,057万4,537円。歳出（支出）総額は134億8,660万3,138円となり、差額の4億2,397万1,399円を次年度に繰り越しました。

なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源7,289万7,000円が含まれているため、実質収支は3億5,107万4,399円になりました。



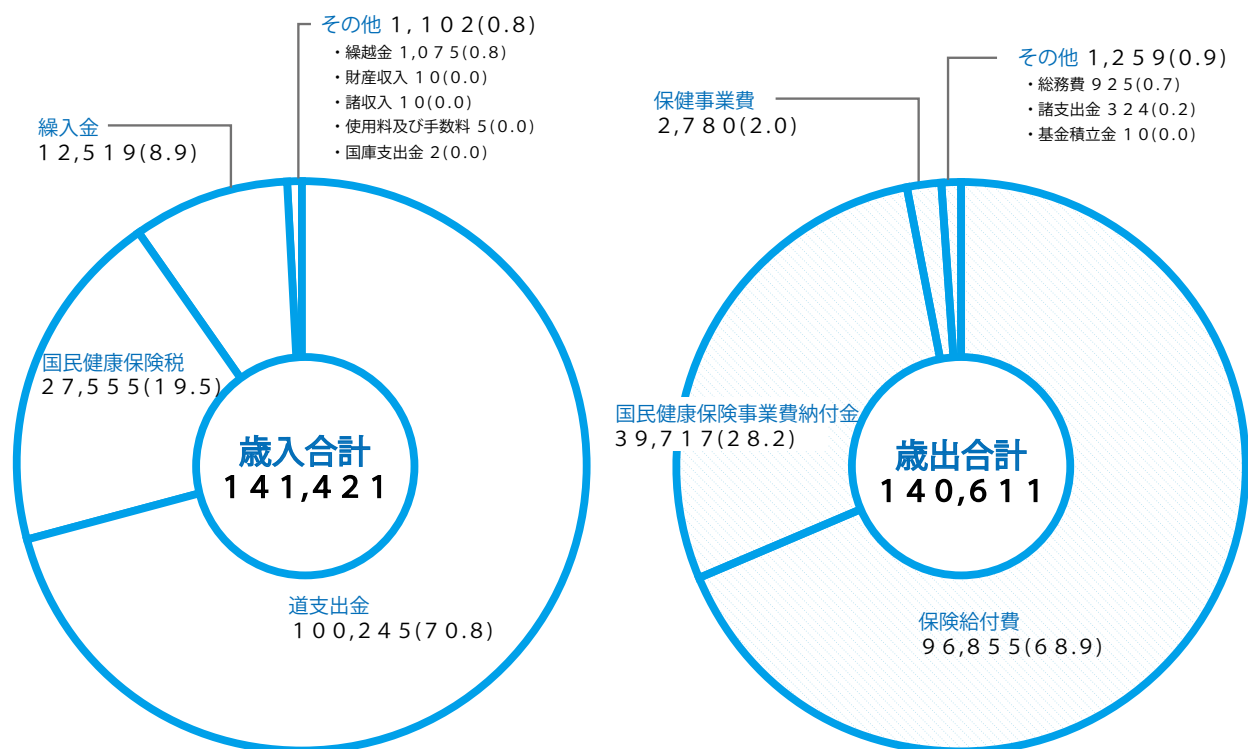
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳出総額は134億8,660万円。
前年比8億3,839万円の増。

歳入は、町債や地方交付税の増などにより、前年度比で約9億6,706万円の増となりました。歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が19.6%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が80.4%となりました。

歳出は、前年度比で約8億3,839万円の増となりました。増減が大きい費目としては、衛生費が約6億2,282万円の増、農林水産業費が約1億5,496万円の減となりました。歳出全体の構成は、衛生費が最も多く、次に総務費、民生費と続いています。

国民健康保険特別会計の決算概要



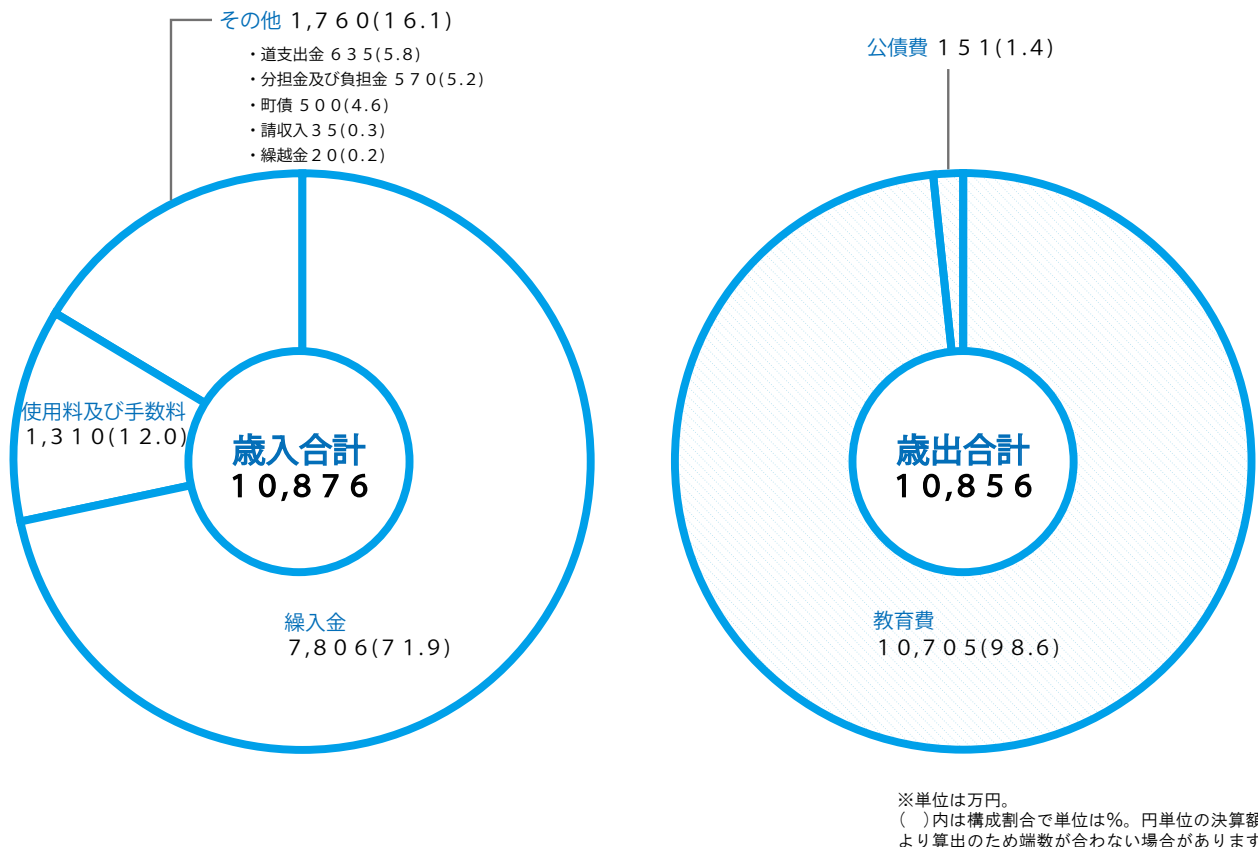
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入14億1,421万円。歳出14億611万円。
810万円を翌年度に繰り越しました。

国民健康保険特別会計とは、国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

令和6年度末の国民健康保険に加入している世帯数は1,445世帯、被保険者数は2,319人で、町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

北海道介護福祉学校特別会計の決算概要

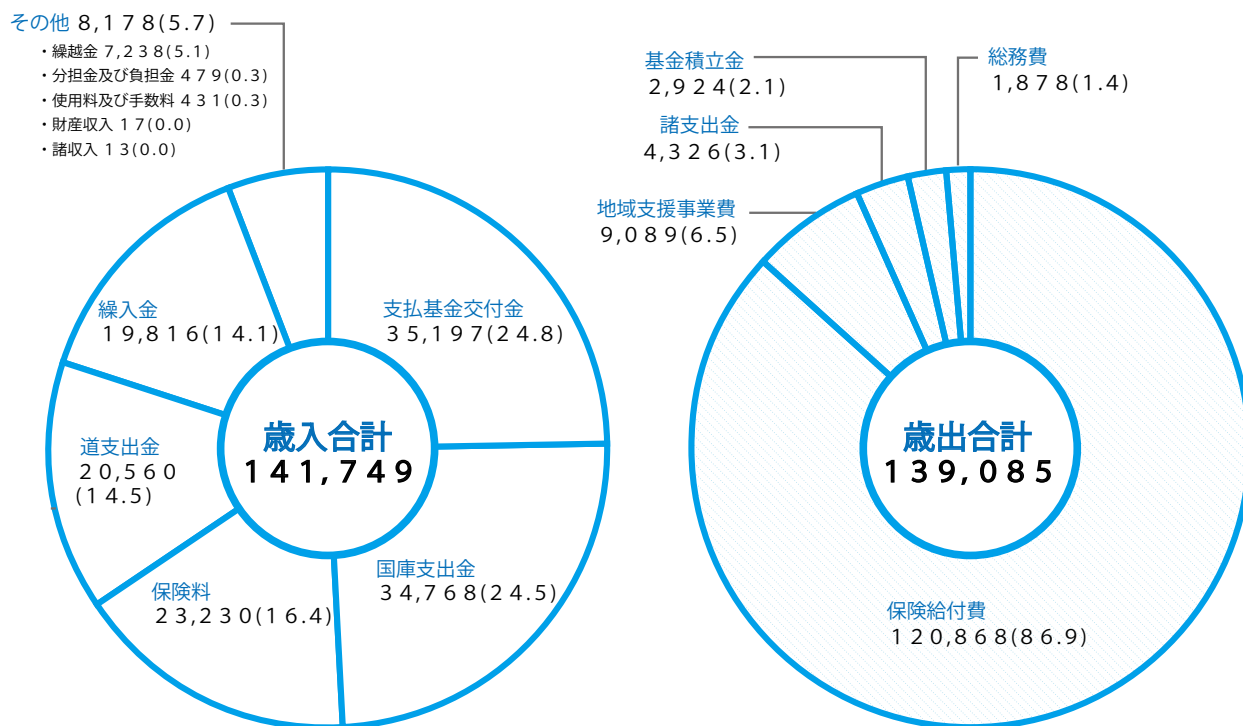


歳入 1 億 8 7 6 万円。歳出 1 億 8 5 6 万円。
2 0 万円を翌年度に繰り越しました。

北海道介護福祉学校特別会計とは、町立北海道介護福祉学校の運営のため、一般会計と区分された会計です。

社会情勢などにより入学者数は定員数に満たないものの、介護福祉士人材の求人数は堅調で、開校以来 3 6 年連続就職率 1 0 0 % を達成しました。

介護保険特別会計の決算概要



※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

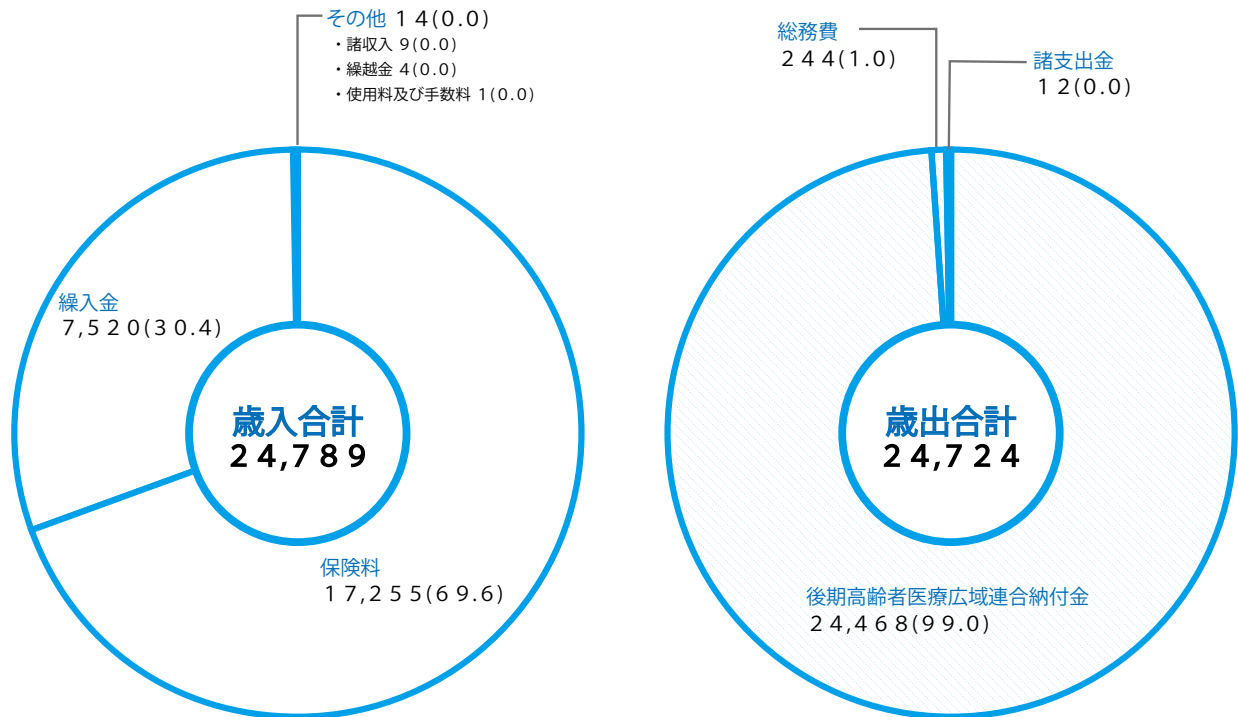
歳入14億1,749万円。歳出13億9,085万円。
2,664万円を翌年度に繰り越しました。

介護保険特別会計とは、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、福祉の増進に努めました。

また、将来に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

後期高齢者医療特別会計の決算概要



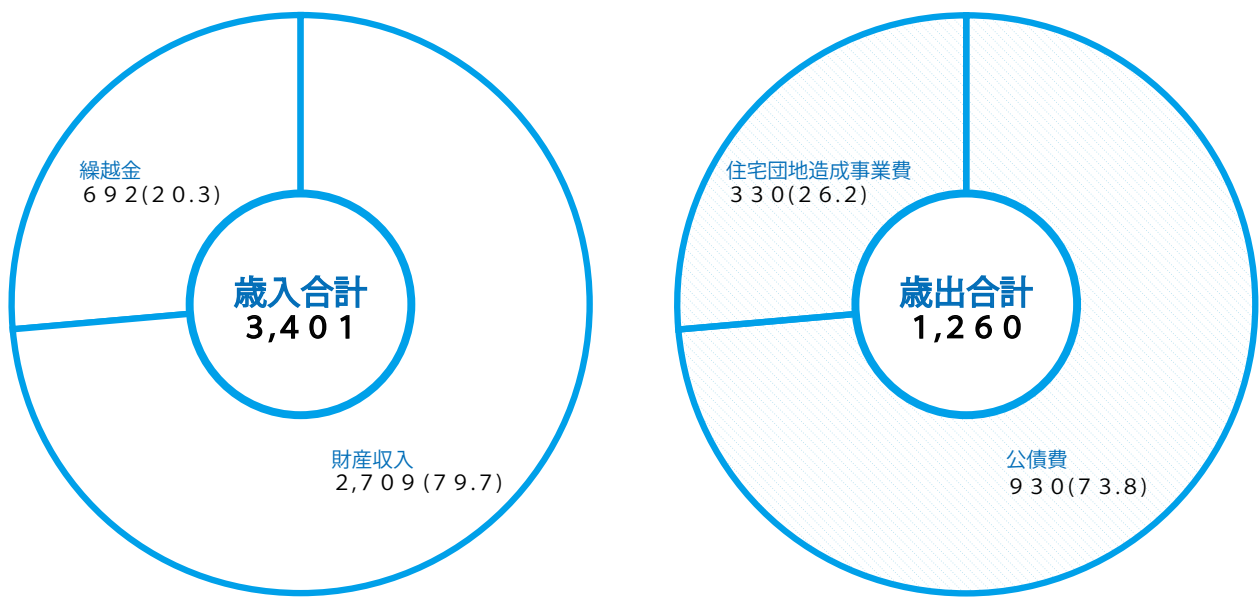
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入2億4,789万円。歳出2億4,724万円。
65万円を翌年度に繰り越しました。

後期高齢者医療特別会計とは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

北海道後期高齢者医療広域連合が主体となって運営していますが、本町では高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理の窓口事務や保険料の徴収などを行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

住宅団地造成事業特別会計の決算概要



※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

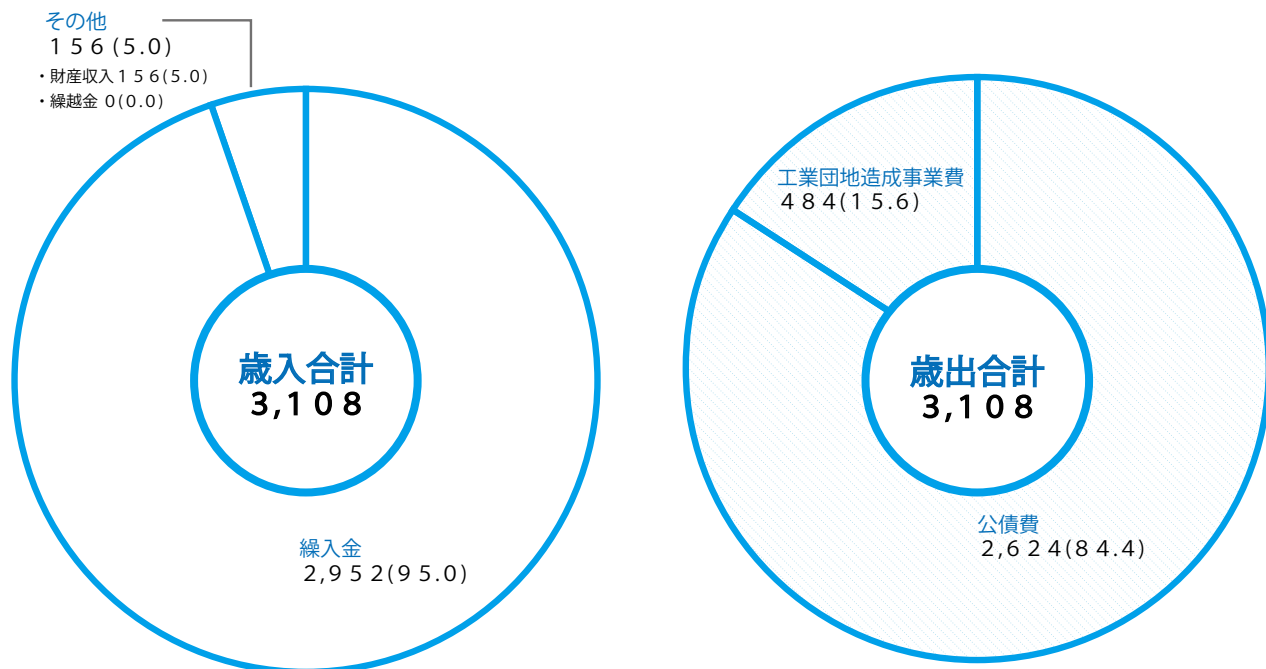
歳入 3,401 万円。歳出 1,260 万円。
2,141 万円を翌年度に繰り越しました。

住宅団地造成事業特別会計とは、住宅団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成27年10月より分譲を開始した朝日4丁目住宅団地第4期（全19区画）は、令和6年度末までに18区画を販売しました。

令和6年4月より分譲を開始した中里住宅団地第1期（全20区画）は、令和6年度末までに7区画を販売しました。

工業団地造成事業特別会計の決算概要



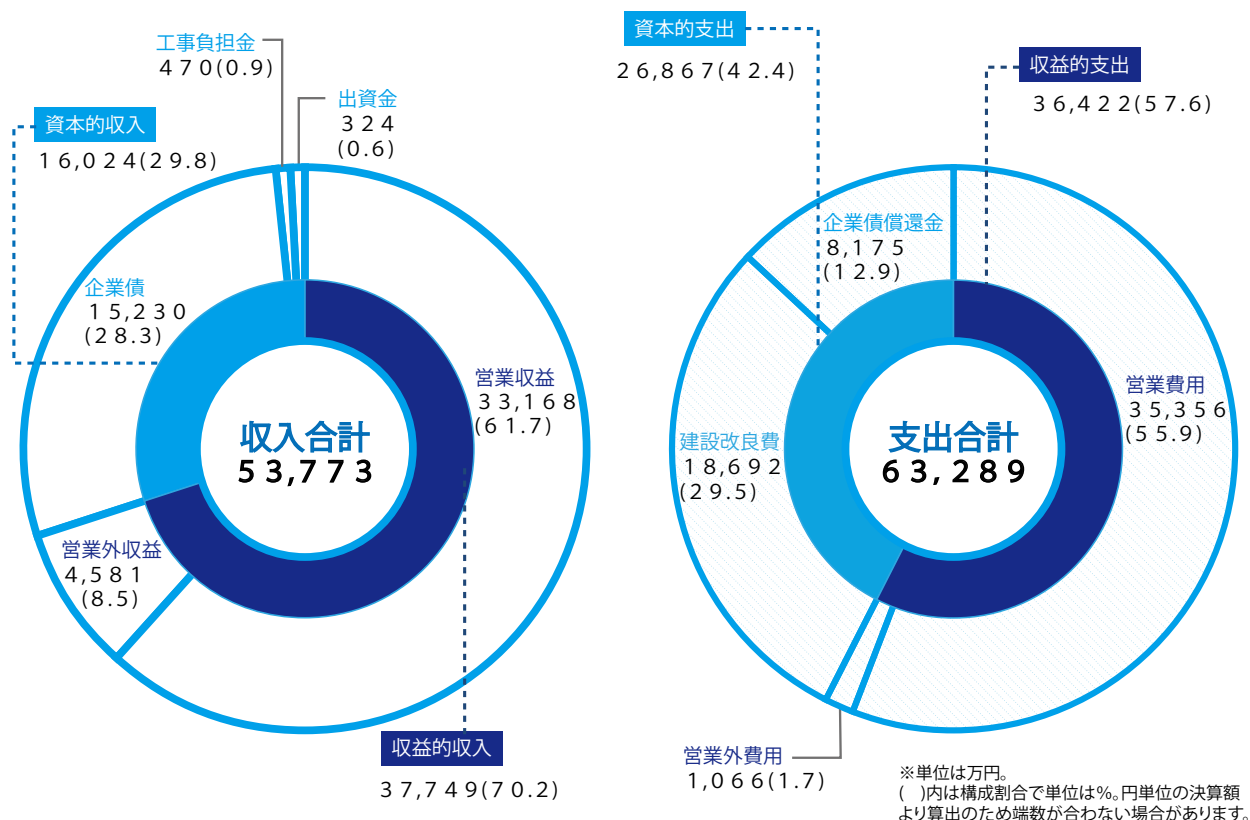
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入 3,108 万円。歳出 3,108 万円。

工業団地造成事業特別会計とは、工業団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成30年度より分譲を開始した第4期工業団地（全7区画）は、令和6年度末までに3区画を賃貸借、2区画を販売しました。

水道事業会計の決算概要



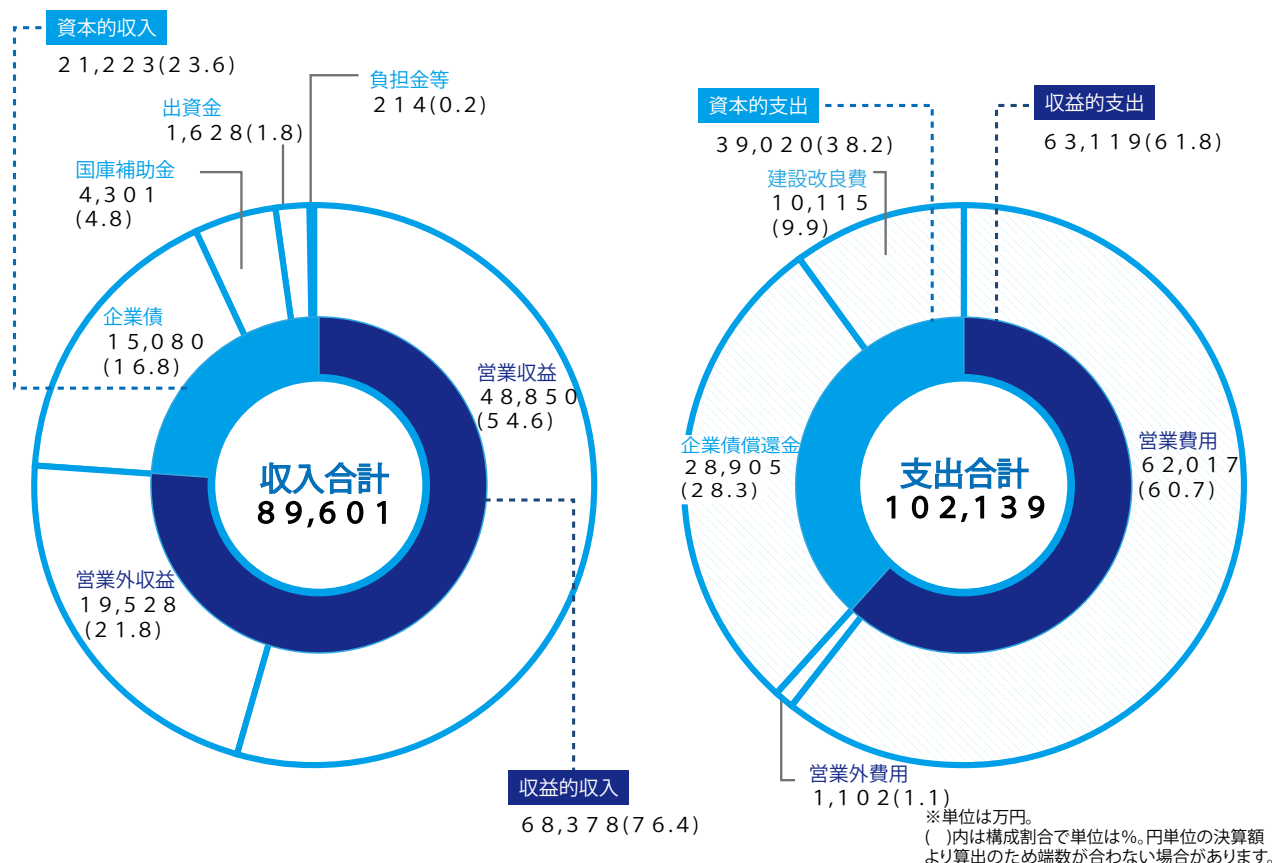
収入5億3,773万円。支出6億3,289万円。
会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

水道事業会計とは、水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。

水をつくりご家庭などに届けるための経費（収益的収支）では差引1,327万円となりました。浄水場の設備更新や配水管の整備などに使用するための経費（資本的収支）では1億843万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。

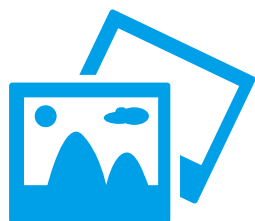
下水道事業会計の決算概要



収入8億9,601万円。支出10億2,139万円。
会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

下水道事業会計とは、下水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では差引5,259万円となりました。下水道管や下水道管理センターの設備更新や取り替えなどに使用するための経費（資本的収支）では1億7,797万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。



写真でみる

主な実施事業

栗山町第7次総合計画
に基づく令和6年度事
業実施結果の一部を紹
介

※栗山町第7次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名、決算額及び、事業に関連した写真を掲載しています。

計画
事業
2

ごみの正しい知識の普及啓発と協体制づくりを進めます。



(ごみ処理施設見学会の実施)

決算額 1 1 2 千円

計画
事業
153

公共施設等の空調設備を計画的に整備します。



(公共施設(10施設)に新たに整備した空調設備)

決算額 7 5, 6 1 4 千円

計画
事業
6

防災知識啓発、地域防災活動を推進します。



(防災訓練の実施)

決算額 5 5 1 千円

計画
事業
7

災害時の危機管理体制の充実化を図ります。



(備蓄用食料の購入)

決算額 5 8, 9 7 9 千円

計画
事業
11

老朽化した消防施設等を改修・整備します。



(外壁・屋根・屋上防水改修を行った消防庁舎)

決算額 5 9, 3 7 8 千円

計画
事業
16

消費生活に関する啓発活動の支援や相談窓口の充実を図ります。



(栗山消費者協会による消費者まつりの開催)

決算額 3, 0 1 2 千円

計画
事業
25

「子ども夢づくり基金」を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。



(小中学生のスポーツ・文化活動への支援)

決算額 1,783 千円

計画
事業
152

学生寮の計画的な整備を図ります。



(増設した学生寮)

決算額 110,648 千円

計画
事業
36

学校経営基盤の確立を図り、超高齢社会を支える優れた介護福祉士を養成します。



(生活支援技術の授業の様子)

決算額 99,253 千円

計画
事業
41

栗山高校「魅力化ビジョン（案）」を推進します。



(栗山高校女子野球部の活動の様子)

決算額 12,977 千円

計画
事業
43

自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。

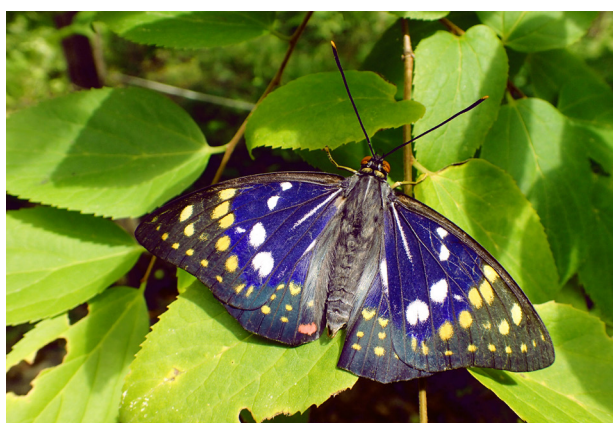


(栗山キッズクラブ田植え体験の様子)

決算額 74 千円

計画
事業
50

国蝶オオムラサキの生息環境を保全・再生し、生態を公開します。



(国蝶オオムラサキ)

決算額 15,739 千円

計画
事業
51

ハサンベツ里山づくりの町民活動を支援します。



(ハサンベツ里山の日の様子)

決算額 9,018 千円

計画
事業
59

少年ジェット派遣事業を実施します。



(海外での研修の様子)

決算額 7,195 千円

計画
事業
62

妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支援します。



(乳幼児健診の問診の様子)

決算額 14,278 千円

計画
事業
78

介護人材育成を図ります。



(介護職員初任者研修の様子)

決算額 3,109 千円

計画
事業
80

高齢者の社会参加と地域の支え合い活動の充実を図ります。



(まちなかケアラースカフェでの交流会の様子)

決算額 19,347 千円

計画
事業
89

鳥獣による農業被害の防止及び軽減を図ります。



(有害鳥獣捕獲の様子)

決算額 5,745 千円

計画
事業
98

造林事業などにより適正な森林管理を推進します。



(薪割り体験の様子)

決算額 33,104 千円

計画
事業
104

ファブラボ栗山を運営し、ものづくりを通じた「まちの未来を開拓する担い手」づくりを推進します。



(ファブラボ栗山でのものづくり体験の様子)

決算額 12,271 千円

計画
事業
105

地域資源を磨き上げ観光・交流による地域経済活性化を推進します。



(栗山秋まつりの様子)

決算額 36,122 千円

計画
事業
106

栗山町への移住・定住を促進します。



(くりやま移住相談会の様子)

決算額 19,229 千円

計画
事業
114

冬期間における道路環境を維持・確保します。



(除排雪事業在り方検討会議の様子)

決算額 204,700 千円

計画
事業
119

公営住宅の整備・改修を実施します。



(新築した中央南団地)

決算額 527,158 千円

計画
事業
130

景観資源の保全・活用を図ります。



(景観フォトコンテストの様子)

決算額 1 7 6 千円

計画
事業
131

公園施設の計画的な修繕・更新を実施します。



(更新された園名板)

決算額 3 4 *, 3 6 4 千円

計画
事業
135

各種統計データの収集を行い、町勢の現状を分析しまちづくりに活用します。



(ポケット統計の作成)

決算額 4 1 千円

計画
事業
136

ふるさと納税制度の効果的な運用を図ります。



(ふるさと納税お礼状デザイン)

決算額 3 3 5, 7 2 9 千円

計画
事業
141

議会 ICT 化を推進し、情報公開と共有及び町民参加の機会を保障します。



(タブレット端末の活用による議案等のペーパーレス化)

決算額 1, 8 3 7 千円

計画
事業
146

くりやまの情報を収集・発信する体制をつくり、町民との情報共有や町外への情報発信の充実を図ります。



(開局したコミュニティラジオ放送局)

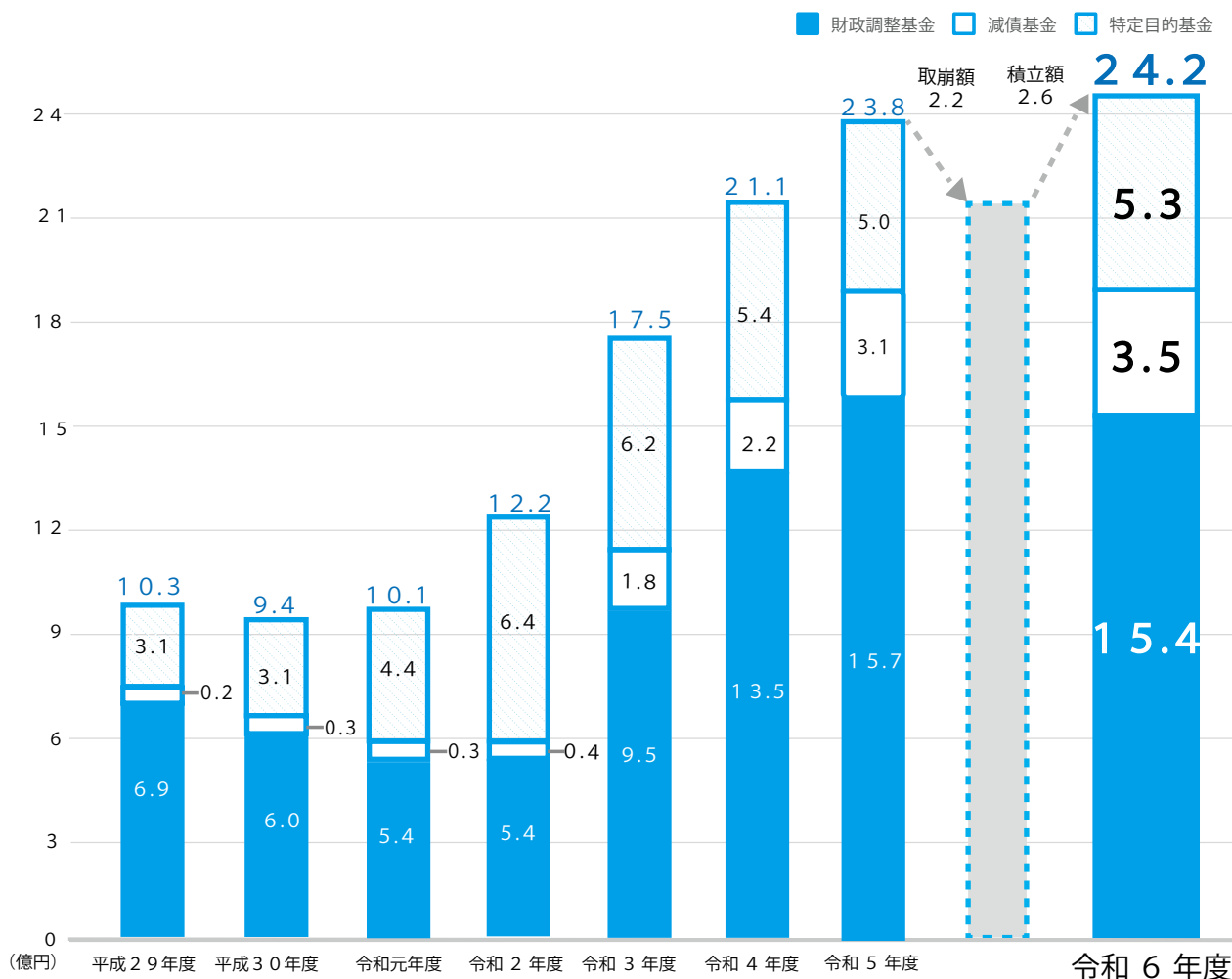
決算額 3 5, 3 2 8 千円



グラフでみる

まちの財政状況

基金残高の推移（一般会計）

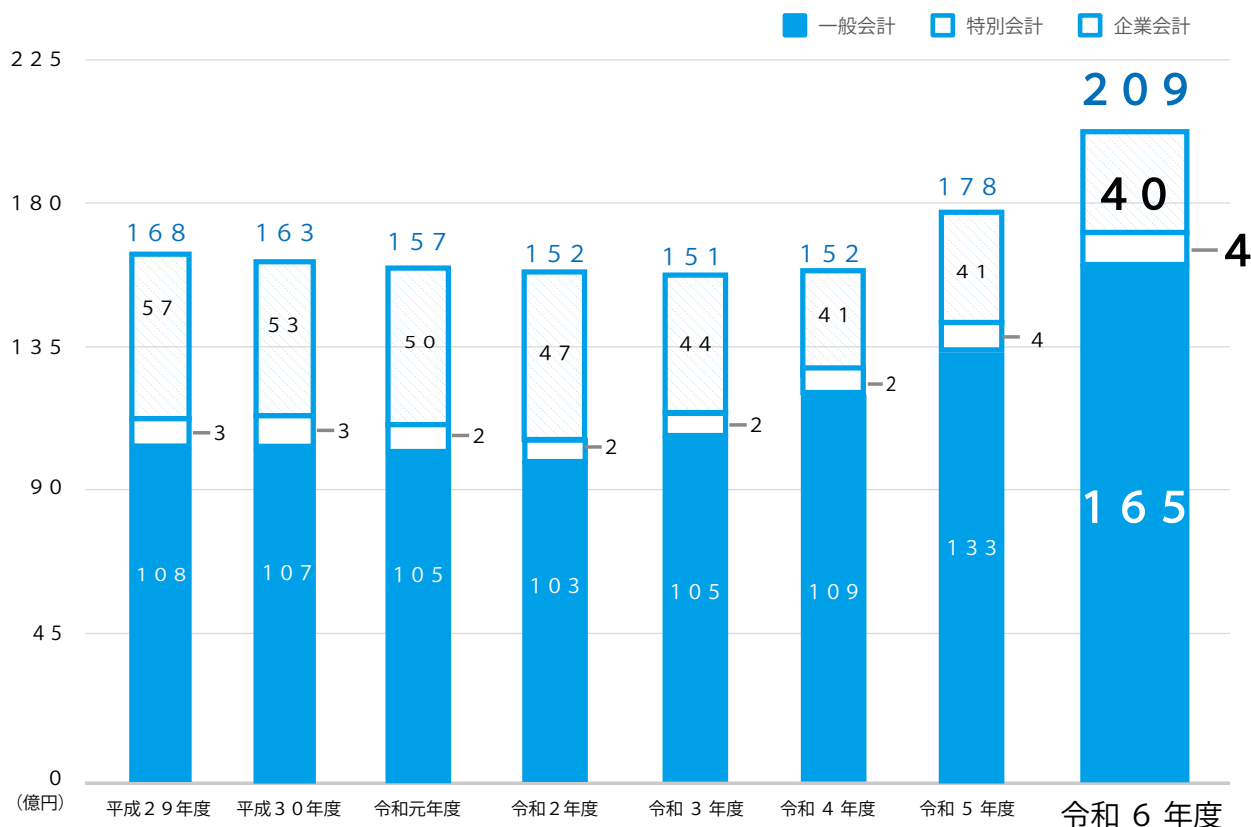


基金の年度末残額は24億1,564万円。
前年比3,641万円の増になりました。

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で24億1,564万円になり、前年度比で3,641万円の増となりました。

なお、令和6年度における取り崩し額は2億2,314万円で、積み立て額は2億5,955万円です。

町債残高の推移（全会計）



町債の年度末残高は209億1,740万円。
前年比30億7,900万円の増になりました。

町債（町の借入れ金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないように、町総合計画等に基づき、計画的な借入れを行っています。

町債の年度末残高は全会計分で209億1,740万円となりました。栗山赤十字病院改築等事業に係る町債の借入等により、前年比で30億7,900万円の増となりました。

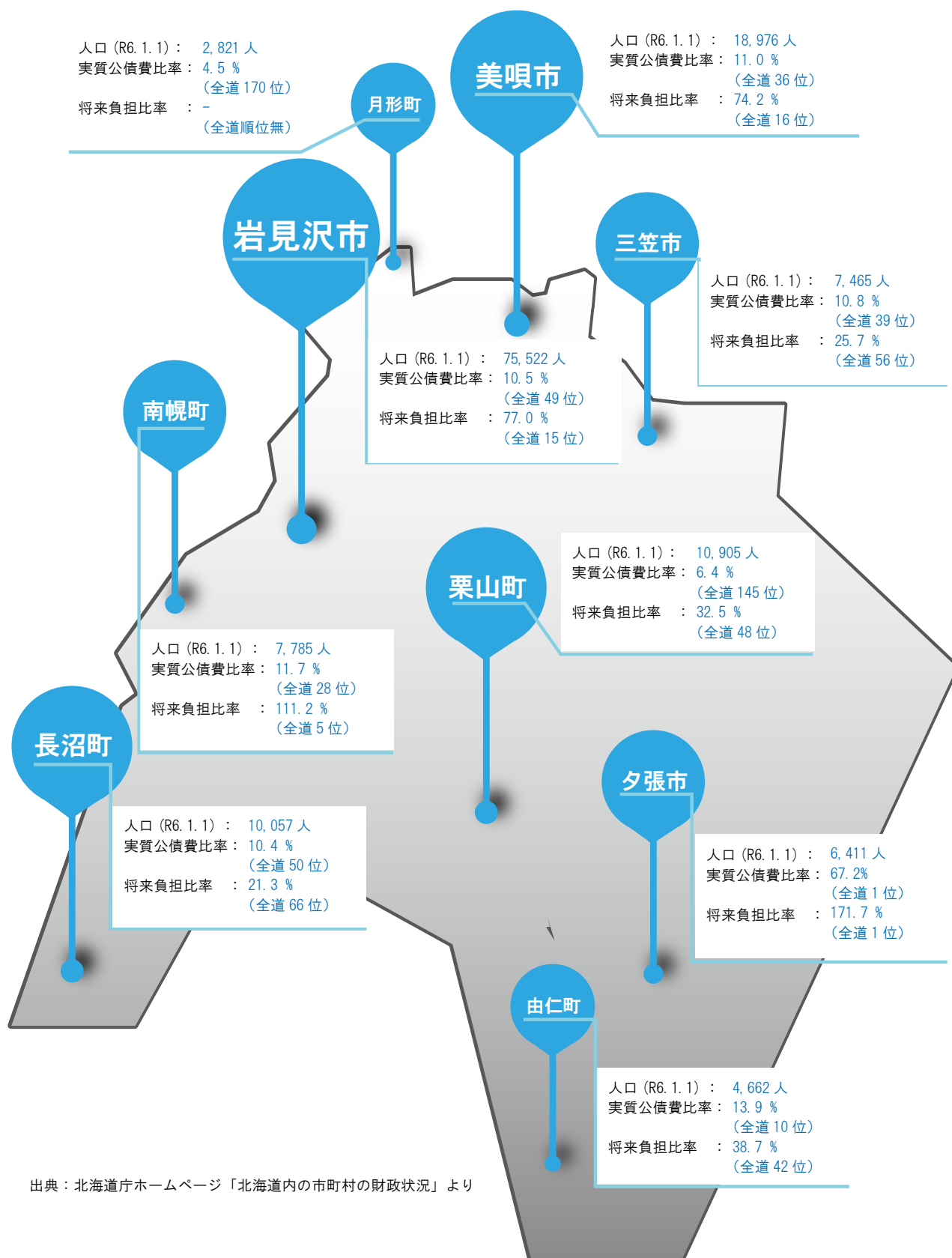
財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況

指 標		指標の説明	比 率 (R 6 決算)	全道市町村 の平均 (R 5 決算)	基準値	
					早期健全化 基 準	財政再生 基 準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	14.92%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	19.92%	30%
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	6.4%	7.1%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	59.1%	15.7%	350%	
資金不足比率 (水道・下水道事業、住宅団地・工業団地造成事業)		資金不足額(赤字額)の事業規模に対する比率	該当無		20%	

まちの財政は「健全基準」にありますが、
依然として厳しい財政状況が続いています。

財政の健全さを計る指標を導入し再建の枠組みを定めた「財政健全化法」に基づき、町の財政状況を分析しています。

実質公債費比率、将来負担比率とも健全基準にはありますが、引き続き将来世代に大きな負担を残すことのない財政運営に努めていく必要があります。



出典：北海道庁ホームページ「北海道内の市町村の財政状況」より

本冊子は、令和６年度の決算概要をご理解いただくため、要点を絞り作成しました。
詳しい内容については、資料編「令和６年度主要な施策の成果表」をご覧ください。
なお、お寄せいただいたご意見、ご感想などを次年度の冊子作成の際の参考とさせていただきます。
町の財政情報を的確に、そして、分かりやすくお知らせしていくためのご意見などをお待ちしております。

発 行 / 栗山町

発行日 / 令和７年１０月

編 集 / 企画財政課財政グループ

〒０６９－１５１２ 北海道夕張郡栗山町松風３丁目２５２番地

ＴＥＬ：０１２３－７３－７５０３（直通） ＦＡＸ：０１２３－７２－３１７９（代表）

ＷＥＢ：<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/> ※ホームページにも本冊子の内容を掲載しています。

